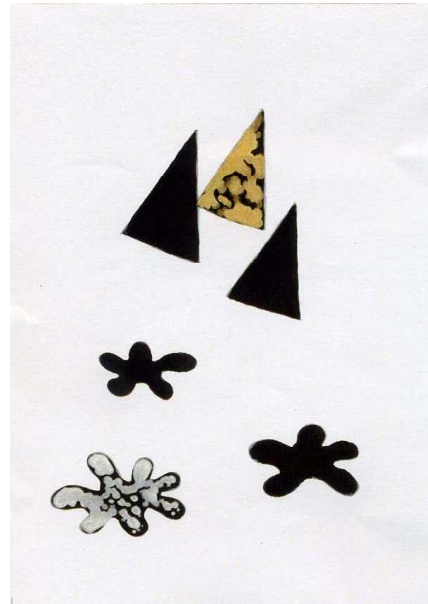


知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより

2011年12月

第40号



7. 英知は創造の秩序をもたらし

本館1階閲覧室の壁面を飾る、此木三紅大(このきみくお)さん制作のレリーフ「知識は旅をする」、10点の作品を順番に紹介しています。

作：此木三紅大氏 松山庭園美術館(匠瑤市)館主

■トピックス

▼文学講座を開催しました

11月12日(土) 城西国際大学日本研究センター所長の三木紀人氏をお招きし、文学講座「房総の風景と詩と時代―斎藤信夫『里の秋』をめぐって―」という演題で講話をいただきました。

＜特集を掲載しました！＞

▼利用者アンケートを実施しました

10月27日(木)～11月9日(水)の2週間、来館された皆様に利用者アンケートをお願いしました。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

→＜結果を掲載しました＞

▼展示コーナー資料紹介

「直木賞・芥川賞
受賞作品の本(仮題)
(展示期間1/21～4/19)

▼年末年始休館のお知らせ

12月28日(水)から1月4日(水)まで、休館します。

なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面入口左側にありますブックポストをご利用ください。

ホームページURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイトURL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機のQRコードリーダーでアクセスできます→



房総の風景と詩と時代 斎藤信夫「里の秋」をめぐる

平成23年11月12日(土) 13:30～15:30 場所:3階 研修室

本年は童謡「里の秋」の作詞者で知られる斎藤信夫の生誕百年に当たります。斎藤信夫は明治44年、千葉県みきすみとの南郷町(現在の山武市)に生まれ、小学校の教師をしながら童謡の創作を続けました。そこで、城西国際大学日本研究センター所長の三木紀人先生をお招きし、「斎藤信夫とその作品」をテーマにご講演いただき、52名の方が聴講されました。



三木先生は中世文学、特に鴨長明や兼好法師など隠者とその作品がご専門ですが、なぜ「里の秋」に深い関心を持ったかについて、まずお話しされました。続いて、「里の秋～童謡詩人・斎藤信夫～」(城西国際大学メディア学部の江口ゼミが制作し、平成21年度千葉県メディアコンクールにおいて優秀賞を受賞した映像作品)を見せていただきました。

「里の秋」は、当初昭和16年の開戦の直後に「星月夜」として作られ、四番までであったそうです。終戦の年に、一、二番はそのままに、三番を書き直し、海沼実さんが作曲して、「里の秋」として12月24日の復員兵歓迎のNHK番組の中で発表されました。この歌を歌った川田正子さんへの強い思い入れについてもお話しされました。先生は「静かさ」と「明るさ」、「里」、「栗の実」、「鴨」、「椰子の島」などの歌詞の語句を取り上げ、その背景や、歌に登場する「母さん」や「子ども(男の子)」の思いについて、斎藤信夫の他の童謡や万葉集の歌にも触れつつ、中世日本文学の深い造詣を踏まえて詳しく説明してくださいました。



聴講者の皆様からは、「歌の世界、背景が実感できた。」、「わかりやすく感銘を受けた。」、「千葉県の成東で身近に感じた。」などのご感想をいただきました。

なお、三木先生の著書は、千葉県立図書館に所蔵がございます。詳しくはホームページをご覧ください。カウンターにお問い合わせください。

名作映画鑑賞会のご案内



毎月第3土曜日に、名作映画鑑賞会を開催しています。(入場無料)

開場：午後1時15分～

映画上映：午後1時30分～

場所：東部図書館3階研修室

★ 12月17日(土) 『第九交響楽』

監督:デトレフ・ジールク

★ 1月21日(土) 『白銀は招くよ!』

主演:ヴァイリ・ビルゲル

監督:ハンス・クヴェスト

★ 2月18日(土) 『アパッチ砦』

主演:トニー・ザイラー

監督:ジョン・フォード

主演:ジョン・ウェイン



図説龍とドラゴンの世界

笹間 良彦／著 瓜坊 進／編
遊子館 2008 [388/54]

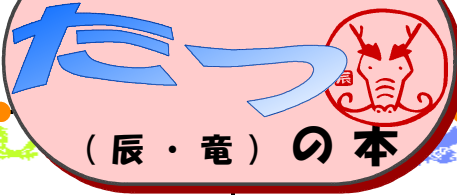


古今東西で伝承されてきた龍について、図像と文献資料を駆使して簡明に解説した本です。

全十章で、第一章は「龍の起源・西欧の龍・インドの龍」、第二章は「中国の龍」、そして第三章から第十章までは、日本の龍について時代に沿って紹介されています。各章は見開きで終わる小項目で編成され、それぞれの項目に図像が付しているため、読みやすく、解りやすくなっています。

各章末には「龍雛(りゅうすう)とは筍の異名」とか「龍子(りゅうし)とはとかげの異名」などの記述もあり、チョット楽しくなります。

図書館ぶらり散歩 (32)



澁澤龍彦ドラコニア・ワールド

澁澤 龍彦／著
澁澤 龍子／編
集英社 2010 [91026/シタ17]



サド、悪魔学、シュルレアリスムの紹介等、文化に様々な影響を与えたフランス文学者、澁澤龍彦は、自ら「龍彦の領土」を「ドラコニア」と名づけました。

本書は「ドラコニア」というべき彼の書齋に置かれた愛蔵の「オブジェ」の写真と、著作の抜粋で構成されており、その世界の一端を覗くことができます。球体の石、髑髏の模型、海胆の殻・・・彼の愛した硬質で無機質の物体と、それに纏わる文章からは、古今東西、時空を越えた「ドラコニア」の豊穡な広がりを感じられます。人間の思考やイメージは無限なのだ、と実感する一冊です。

いせ辰江戸千代紙

いせ辰／著
ピエ・ブックス 2009 [7549/45]



源氏貝合わせ、水玉ぼかし、江戸風づくし・・・。

本書は千代紙や和小物を取り扱う創業1864年の老舗「菊寿堂いせ辰」の千代紙を紹介しています。代々伝わる木版を手刷りして千代紙を作り、刷りを重ねるたびに消耗した木版は何度も版木を彫り直して現代に伝えられてきました。

江戸千代紙の特徴は歌舞伎など江戸の風物詩を題材にしていることや、絵柄の色鮮やかさにあります。また、季節の花鳥や行事に因んだ柄は可愛らしく、見ているものを和ませてくれます。

美しくて愛らしい「いせ辰」の世界をお楽しみください。

龍となれ雲自ずと来る

武者小路 実篤／[画]
小池 邦夫／監修
清流出版 2010 [7219/207]



天高く上り、遙か遠くまで見渡す龍のように、己を信じ、高い志をもとう。自然とまわりに同志が集まってくる――。

武者小路実篤は白樺派の作家として有名ですが、40歳頃から絵筆をとり、温かみのある独特の画風でたくさんの作品を残しました。自身の画に短い言葉を添えることも多く、それを画讃といいます。タイトルにもなったこの言葉は、その一つです。

単行本未収録作品を中心に集められたこの本は、画と画讃が響き合い、時に勇気を、時に元気を、そして時に笑いを与えてくれる一冊です。

※[]内は資料の請求記号です。

茜色の夕日輝く丘

～ 地球の丸く見える丘展望館 ～



(提供：地球の丸く見える丘展望館)

『地球の丸く見える丘展望館』があります。銚子電鉄「犬吠駅」から徒歩15分ほどのところ。開館は昭和63年1月1日、初日の出とともにオープンした3階建ての建物です。

一番の見どころは、屋上の展望スペースです。標高90m、360°の大パノラマが広がり、とどろき大な景色を望むことができます。東には犬吠埼灯台、南には坂の町外川、西には東洋のドーバーと呼ばれる10kmも続く屏風ヶ浦、北にはキャベツ畑の



犬吠埼灯台



屏風ヶ浦

向こうに銚子ポートタワーを見渡せます。そのうち、330°が海で、緩やかに弧を描いた水平線が目に入ります。まさしく、地球が丸く見える丘です。

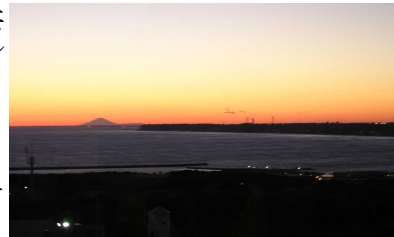
3階は展望ラウンジになっています。屋上へは階段で行かなければなりません。3階まではエレベーターで上がることができます。このラウンジからも330°広がる海の景色を満喫することができます。喫茶コーナーもあり、美しい景色を見ながら一息入れるのもよいかと思います。

2階はイベントホールです。「イルカウォッチングコーナー」と企画・展示コーナーがあります。「イルカウォッチングコーナー」では、銚子沖で見ることができるイルカの様子を写真で展示しています。船に乗ってのウォッチングが苦手な方でも身近にイルカ



を感じるすることができます。企画・展示コーナーでは、取材した11月は、「組みひも展」を実施していました（12月中旬まで）。今後の展示予定は、12月中旬～1月末には「銚子の風景展」、2～3月は「サイトウヒロミチ絵画展」となっています。

いろいろ紹介しましたが、この展望館の一番のおすすめは、何といたっても『夕日』の美しさです。特に冬の空気の澄んだときには、日没と共に富士山のシルエットを見ることができ、茜色に輝く夕日を堪能していただくために



(提供：地球の丸く見える丘展望館)

「夕日が見られるサンセットタイム」（晴れているときは、開館時間を日没まで延長）を実施しています。時には、ゆっくりと美しい夕景を楽しむのもいかがでしょうか。

また、毎年1月1日は、午前5時30分に開館し、初日の出を祝うことができます。先着300名には、干支の土鈴のプレゼントもあります。

今回は、一年の終わりの夕日と一年の初めの朝日を堪能してみませんか？

- ◆所在地 銚子市天王台1421-1 (Tel 0479-25-0930)
- ◆開館時間 4月～9月 9:00～18:30
10月～3月 9:00～17:00
※ 年中無休
- ◆入館料

	個人	団体
一般、大学・高校生 ※ (65歳以上)	350円 ※ (300円)	(20名～) 315円 (100名～) 300円
小・中学生	200円	(20名～) 180円 (100名～) 150円

- 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。お近くの図書館、あるいは公民館図書室等の読書施設にご相談ください。
- 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

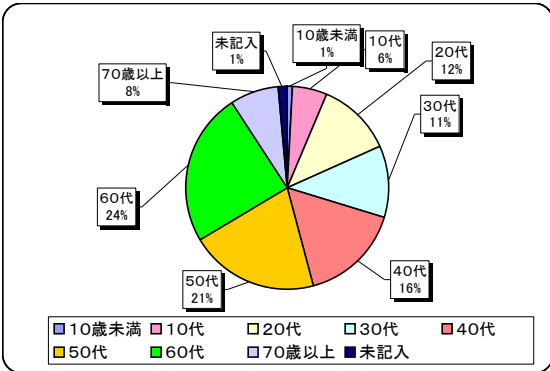
朝晩は、グッと冷え込む季節となりました。こんな夜、あなたはミステリーですか？それともロマンス？はたまた歴史物？ブランド入りのジャスミンティーを友に、至福のときを過ごしてみませんか？

編集・発行：千葉県立東部図書館
〒289-2521
千葉県旭市ハの349
Tel 0479-62-7070
URL：http://www.library.pref.chiba.lg.jp/

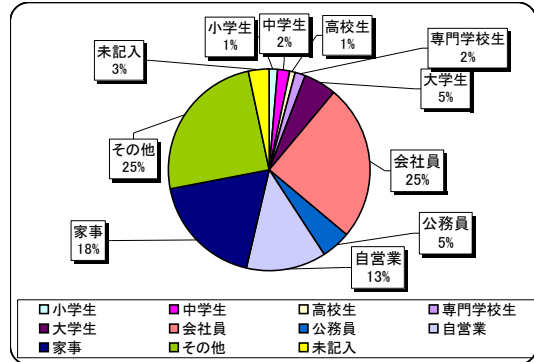
東部図書館 利用者アンケート集計結果

平成23年10月27日～11月9日の2週間実施しましたアンケート調査の結果をご報告します。
アンケート回収枚数は218枚で回収率は約70%でした。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

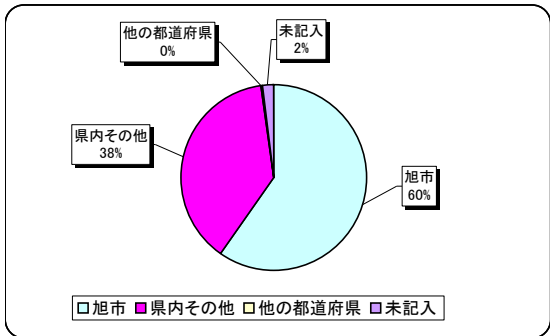
○年齢別



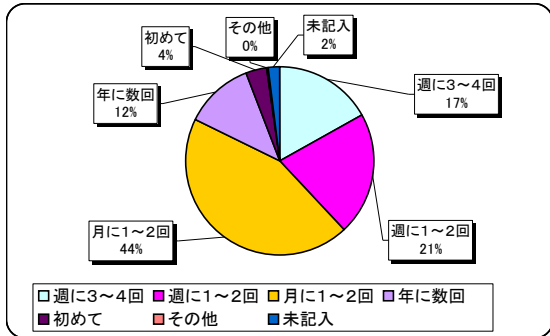
○職業



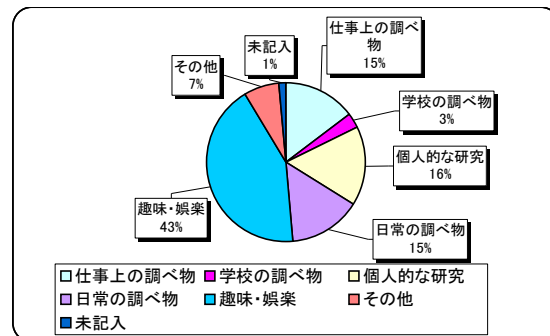
○住所



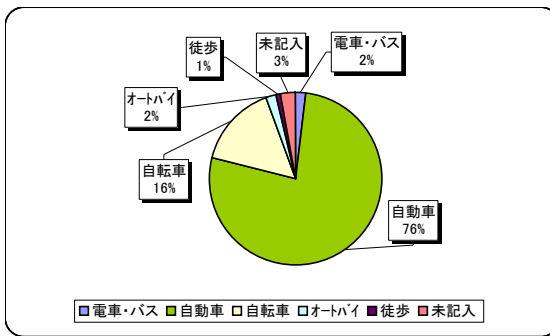
○来館頻度



○来館目的



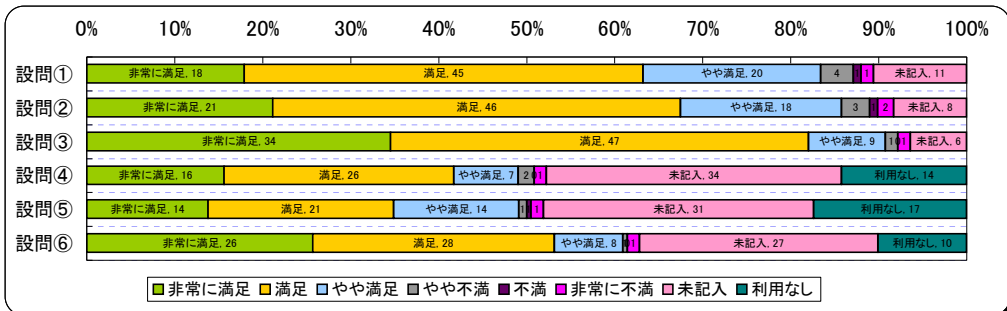
○交通手段



回答者の2割強が60歳以上で、続いて50代、40代、20代、30代の順になっています。(10代、20代は祝日日の利用が圧倒的に多くなっています)
職業については、会社員とその他(無職等)が同じ数値ですが昨年とほぼ同じ25%、次いで家事18%になっています。
住所については、「旭市」が半数以上の約6割を占め、自動車で来館される方が圧倒的に多く、8割弱となっています。

共通設問

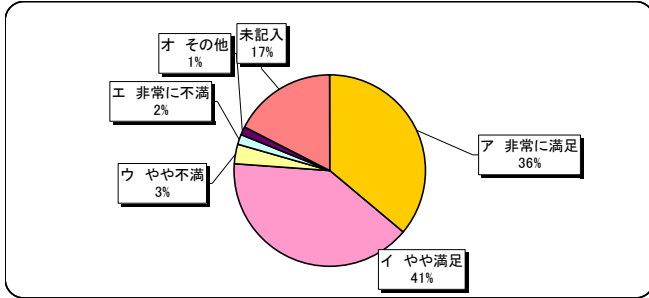
- ①お探しの本(資料)は利用できましたか。
- ②館内案内図や書架の表示、カウンターの表示などは、わかりやすいですか。
- ③職員の対応はいかがですか。
- ④他の図書館からの本の取り寄せの期間や手続きはいかがですか。
- ⑤当館のコンピュータの使い勝手はいかがですか。
- ⑥調べものや探している本のことで、職員に相談したときの回答は的確でしたか。



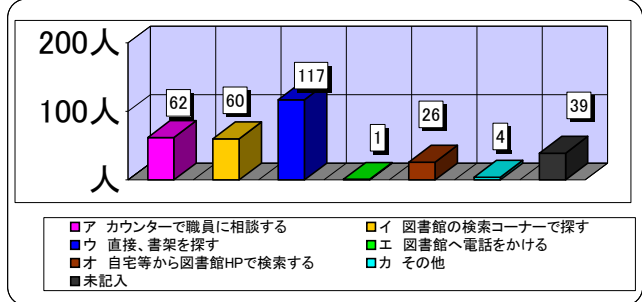
・サービスの満足度について、①から③については「未記入」と「利用なし」を除いて「非常に満足」又は「満足」と回答した方が約7割以上と高い評価をいただきました。
④から⑥についても、「利用なし」と「未記入」を除いて「非常に満足」又は「満足」と回答した方が7割以上でしたが、「利用なし」又は「未記入」回答の方が昨年同様多く、いずれも回答者全体の半分近くを占めています。

東部図書館設問

1. 目的は果たせていますか。



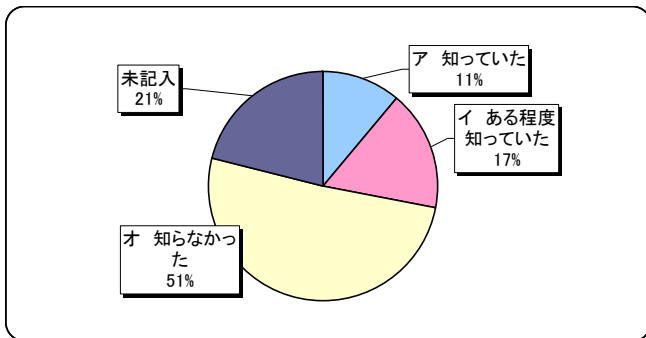
2. 図書館資料は主にどのようにして探しますか。(複数回答可)



県立図書館では、限られた予算を有効に使うため、各図書館の重要収集分野を以下のように定め、3館での重複を避けた資料収集をしています。

中央図書館：社会科学など下記以外・千葉県関係・児童資料
 西部図書館：自然科学・技術・工学
 東部図書館：文学・歴史

3. このような県立図書館の収集のしかたはご存知でしたか？

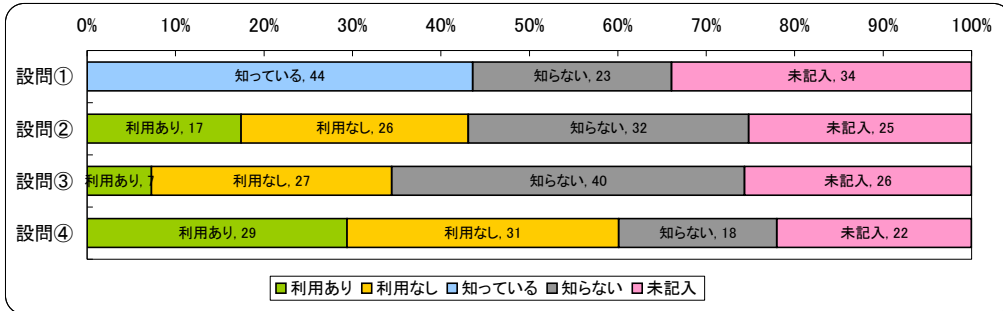


目的を果たしているかについては、8割弱の方がやや満足以上と回答をいただきました。図書館資料の検索については、直接書架を探すものが一番多く、カウンターで職員に相談すると、図書館の検索コーナーで探すは、ほぼ同じ数で、図書館の中において検索されることが多いようです。

また、県立図書館の資料収集のしかたについては、約半数の方が知らないとの回答でした。

4. 次のサービスを知っていますか。

- ① 県立図書館ホームページ
- ② インターネットからの図書の予約
- ③ 電子メールによる調査相談(レファレンス)
- ④ 近隣の公共図書館への県立図書館資料の取り寄せ



・「インターネットからの図書の予約」「電子メールによる調査相談」「近隣の公共図書館への県立図書館資料の取り寄せ」について、「利用なし」または「知らない」と回答した方が5割を超えていました。HPをはじめとする様々な図書館サービスについてももっと知って利用していただけるよう広報に努めてまいります。

アンケートにご協力いただき

ありがとうございました